

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査（小学6年生）の結果をお知らせします

唐津市教育委員会

令和7年4月17日（木）に、全国学力・学習状況調査（国語・算数）が実施されました。

このたび、唐津市全体の結果・分析・改善策をまとめましたので、お知らせします。

この調査の目的は、児童の学習状況、課題等を把握するとともに、結果を踏まえて

児童への学習指導の改善・充実に役立てるために実施されています。



## I. 令和7年度 4月調査 全国、県との比較

小学校 6年生	正答率			全国 との差	県 との差
	全国	佐賀県	唐津市		
国語	66.2	61.1	60.3	-5.9	-0.8
算数	67.9	62.2	59.5	-8.4	-2.7

### 【正答率から分かること】

正答率で比較すると全ての調査問題において、全国及び県を下回った。

## 2. 令和6年度 佐賀県学力・学習状況調査と令和7年度4月調査の経年比較

今年度の小学6年生は、昨年度の4月に佐賀県学力・学習状況調査を受けています。その調査と今年度の調査を基に、同一児童の経年比較を行いました。その結果については、次のとおりです。

### 【国語】

小学校 6年生	令和6年度 (4月調査) 正答率	令和7年度正答率
唐津市	59.8	60.3
県（対県比）	60.8(0.98)	61.1(0.99)

### 【正答率から分かること】

令和6年度4月県調査では、国語、算数ともに県正答率とほぼ同じであったが、令和7年度全国調査は、算数において若干下回る結果となった。

経年比較で対県比を見てみると、国語はほぼ横ばい、算数においては、令和6年度4月県調査から若干下回る変化となった。

### 【算数】

小学校 6年生	令和6年度（4月調査）正答率	令和7年度正答率
唐津市	60.7	59.5
県（対県比）	61.1(0.99)	62.2(0.96)

※（対県比）は、県の正答率を1とした時の唐津市の割合です。

### 3. 小学校 児童意識調査の結果表

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計との比較(%)

主な質問事項	全国	佐賀県	唐津市
国語の勉強は好きですか	58.3	56.5	53.0
算数の勉強は好きですか	57.9	55.4	59.4
理科の勉強は好きですか	80.1	76.5	77.5
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	80.3	80.1	75.8
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	77.8	77.5	75.2
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.4	83.2	81.7
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか	84.9	83.3	80.3
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか	79.4	80.3	78.4
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	82.5	83.1	81.2
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※1時間以上と回答した割合	54.0	48.0	46.7
自分にはよいところがあると思いますか	86.9	86.7	83.4
将来の夢や目標を持っていますか	83.1	83.1	79.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.2	97.5	96.0
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.4	96.7	96.8
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	81.3	80.1	80.5
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.2	92.4	92.4
朝食を毎日食べていますか	93.7	93.1	92.1
学校にいくのは楽しいと思いますか	86.5	85.6	85.2

#### 4. 正答率が高い児童に多く見られる傾向

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 自分には、よいところがあると感じている。
- 先生は、自分のよいところを認めてくれていると感じている。
- 人の役に立つ人間になりたいと感じている。
- 自分と違う意見について考えることが楽しいと感じている。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると感じている。
- 読書が好きである。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると考えている。
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていると感じている。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりしていると感じている。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると感じている。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりできていると感じている。

#### 5. 調査結果から考えられる成果や課題と改善策

- 児童意識調査において、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか」及び「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という質問では全国・県と比較すると下回っているものの、80%以上の児童が肯定的な回答をしています。唐津市で取り組んでいる「子どもが主役となる授業」や「協働的に学ぶ姿」を意識した授業づくりの成果が出ていると考えます。今後も、児童が主体的に学習し、自分の学びを振り返って再び目標設定をし、期待感や充実感をもって学びに向かうことができるような授業改善に取り組んでいきます。
- 「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることができますか（習い事は除く）」という質問に対して肯定的に回答した児童の割合が全国よりも高い結果となりました。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対しても 80.5%が肯定的な回答をしています。地域の力や人材を生かした体験的な学習や関わりが、郷土唐津を大切にする気持ちを育むことつながっていくことが考えられます。今後もより一層、地域と連携した活動やキャリア教育に取り組んでいきます。

- 唐津市学力向上指定校の公開授業において、先生方の優れた実践や取組を紹介し、一層授業改善の具体について学ぶ研究会を開催します。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対して肯定的に回答した児童の割合が全国よりも高い結果となりました。先生との信頼関係があることによって、落ち着いて学習に取り組むことができる教室環境や安心した学校生活につながっていると考えられます。
- 家庭学習について、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」という質問で「1時間以上」と回答した児童は、全国を大きく下回っています。学校と家庭の連携を深め、家庭学習の質と量の両面で改善が図られるようにしていきます。

## 6. 子どもの学力向上のために家庭で協力いただきたいこと

- 早寝、早起き、朝ごはん等、規則正しい生活ができるようにする。
- 宿題や勉強をするときのノーテレビ・ノーメディアを行う等、子どもの学びを支える。
- スマートフォンやタブレット端末の使い方について家庭で話し合い、使い方のルールやマナーについて考え、約束を決める。
- 小さな頑張りをほめることを通して、自分に自信がもてるようになる。
- 子どもの話をじっくり聞きながら対話する。

唐津市 幼・保・小 共通取組  
子どもたちと「つながる」・子どもたちを「支える」  
『あいさつ』『学びを支える』『ほめる』『コミュニケーション』

「学校」「家庭」「地域」が一体となって、  
唐津の子どもたちを育んでいきましょう!



この調査結果は、学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、唐津市全体の正答率は公表しますが、調査の目的や学校規模等を配慮し、個別の学校の正答率等の数値による結果を公表しないこととしています。